

2017年 東京都のHIV感染者・AIDS患者の動向及び 検査・相談事業の実績

2017年のトピックス

- HIV感染者及びAIDS患者を合わせた届出報告数は464件、HIV感染者は367件、AIDS患者は97件で、前年と同数であった。(図-1)
 - 外国籍男性は、前年から15件増加し過去最高となった。(図-2)
 - 推定感染経路では、性的接触によるものが89.4%、男性同性間性的接触によるものが76.7%であった。(図-3)
 - 年代別の割合は、HIV感染者は20~30歳代が67.8%、AIDS患者は30~40歳代が59.8%であった。(図-4)
- 保健所等でのHIV/AIDSに関する電話相談件数は18,818件で、前年から約12%増加した。HIV検査件数は26,920件で、前年から約10%増加した。(図-5、6)
- HIV感染症と同様に性感染症である「梅毒」は、患者報告数が1,788件で、感染症法に基づく調査が始まった2007年以降で、最高となった。(図-7)

男女共に異性間性的接触による報告数が前年より増加し、さらに男性の同性間性的接触の報告数より多くなった。(図-8)

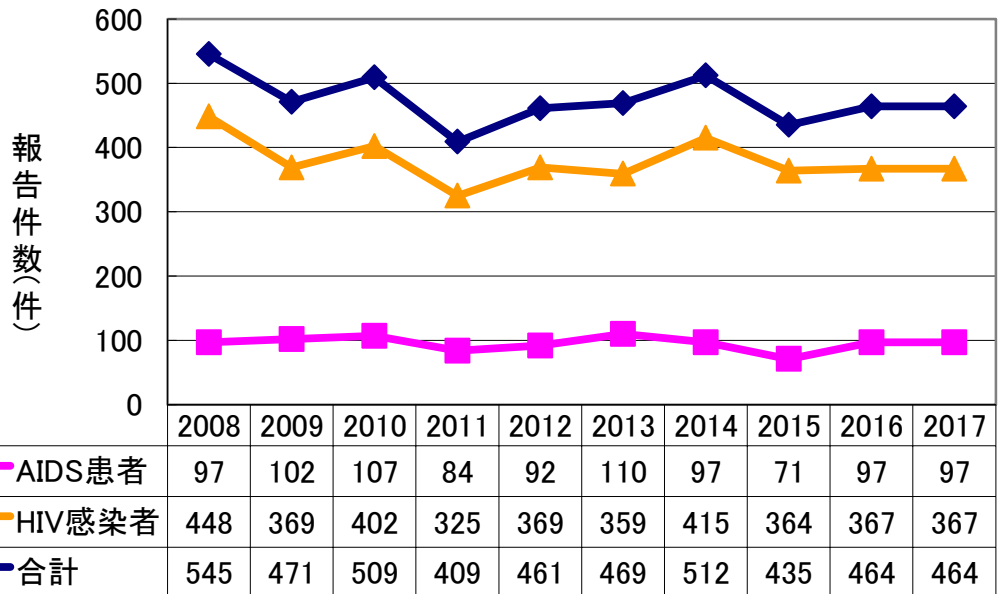
前年と比べ男性は40歳代が減少し、女性は20歳代が急増した。(図-9)

1 HIV感染者及びAIDS患者の発生動向

図-1
HIV感染者及び
AIDS患者報告数
推移
(過去10年)

ひとくち
メモ

HIV感染者：
HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染しているが、AIDSを発症していない状態。



HIV感染者、AIDS患者とも前年と同数であった。

本報告は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づいて、2017年に報告されたHIV感染者とAIDS患者の統計及び区・都の保健所等における相談・検査業務の実績をまとめ、分析したものである。

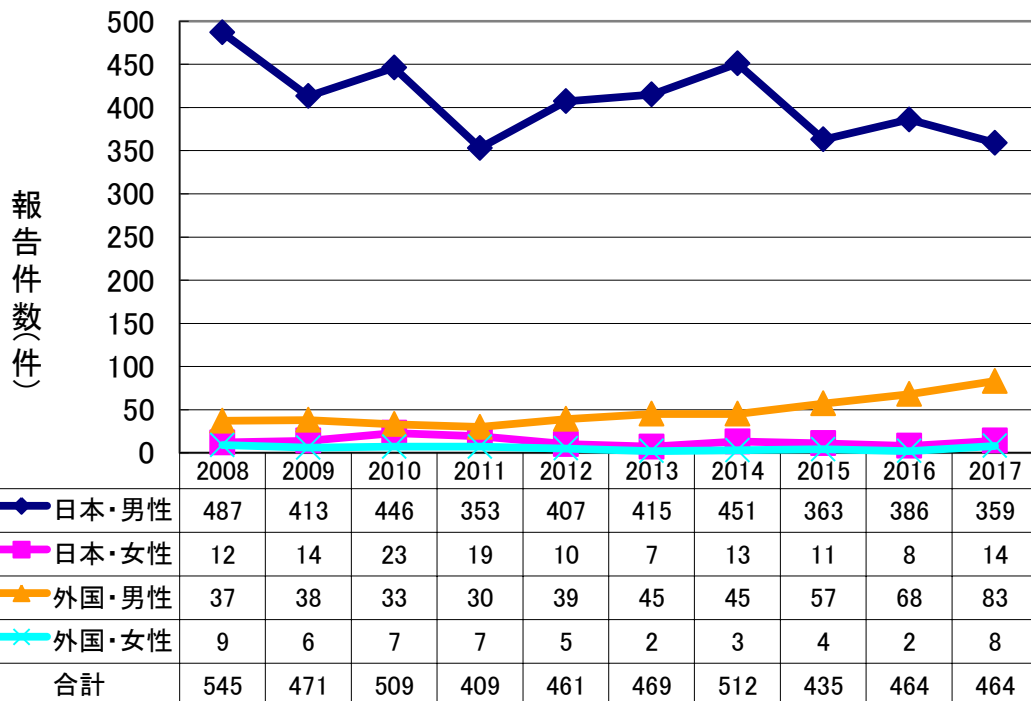
なお、HIV感染者・AIDS患者の報告数、相談件数、検査件数については、過去のデータを見直し、更新されている。

また、図表中では、東京都南新宿検査・相談室を南新宿と記載している。

図-2
国籍、性別推移
(過去10年)

ひとくち
×E

AIDS患者：
HIV感染により免疫力が低下し日和見感染症や悪性腫瘍等（23指標疾患）が認められた状態。
HIV感染後未治療の場合、数年～10数年でAIDS発症すると言われている。

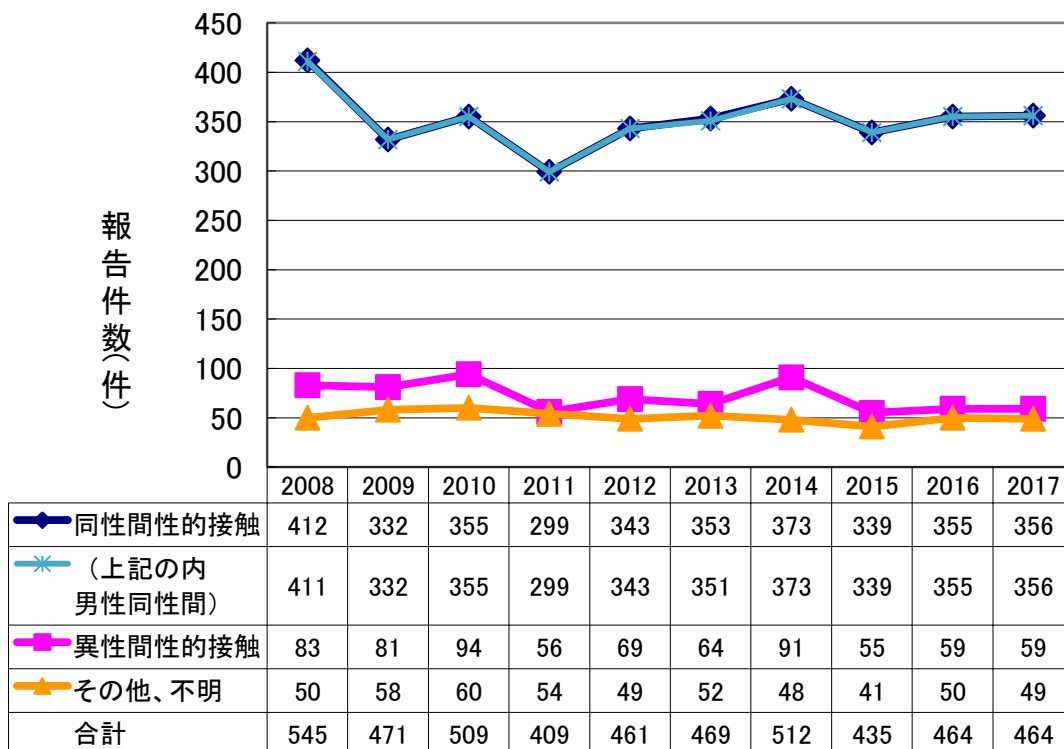


日本国籍の男性は、前年から27件減少した。
外国籍の男性は、前年から15件増加し、過去最高となった。
女性は日本国籍、外国籍ともほぼ横ばいで推移している。

図-3
推定感染経路別
推移
(過去10年)

ひとくち
×E

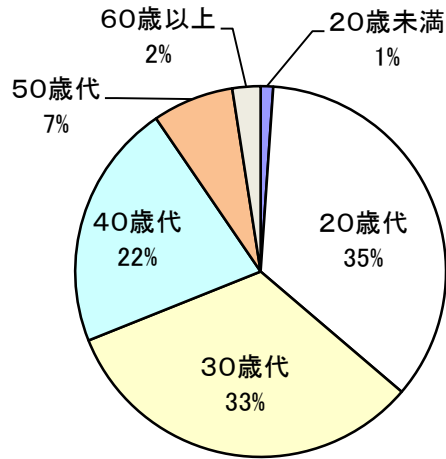
「その他、不明」には、感染経路が不明または複数あったり母子感染や静注薬物使用の可能性のある場合などが含まれる。



同性間性的接触は、前年から1件増加し、異性間性的接触は、前年と同数であった。

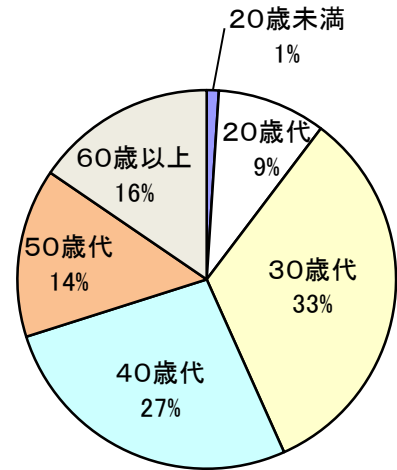
図-4
年齢別割合
(2017年)

(1) HIV感染者



	HIV(件)
20歳未満	4
20歳代	129
30歳代	120
40歳代	79
50歳代	26
60歳以上	9
合計	367

(2) AIDS患者



	AIDS(件)
20歳未満	1
20歳代	9
30歳代	32
40歳代	26
50歳代	14
60歳以上	15
合計	97

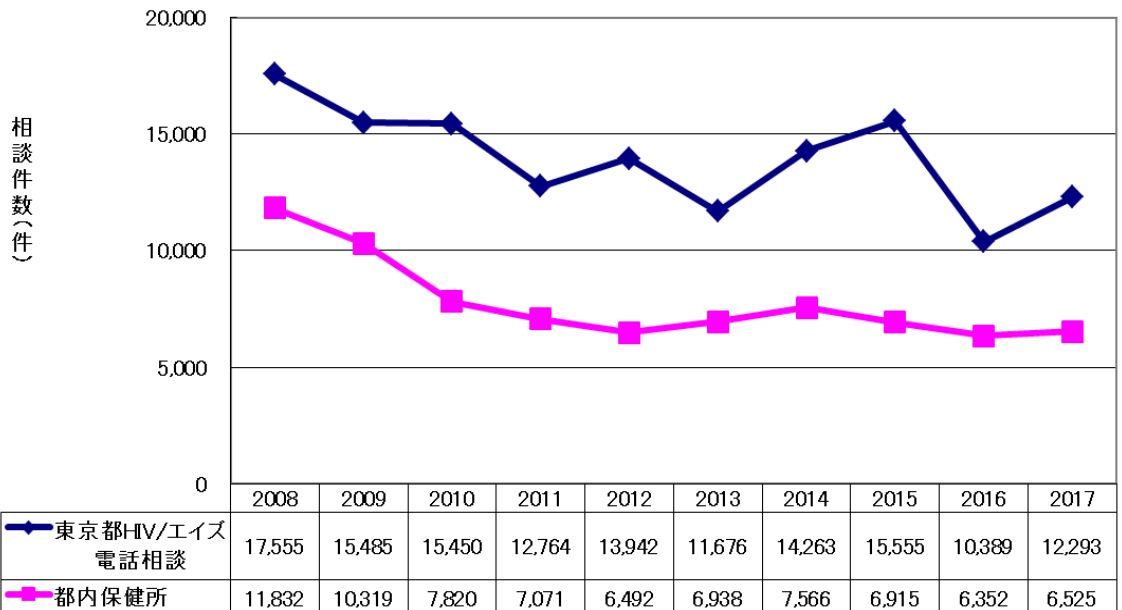
HIV感染者のうち20～30歳代が67.8%、AIDS患者では30～40歳代が59.8%であった。

2 相談・検査体制

図-5
電話相談件数
推移
(過去10年)

ひとくち
メモ

東京都HIV/エイズ
電話相談：
03-3292-9090
平日：9時～21時
土日祝：14時～17時
HIV/エイズに
関しての感染不安
や予防などの
相談に応じて
いる。



電話相談件数は前年から約12%増加した。
東京都HIV/エイズ電話相談は約18%、都内保健所では約3%増加した。

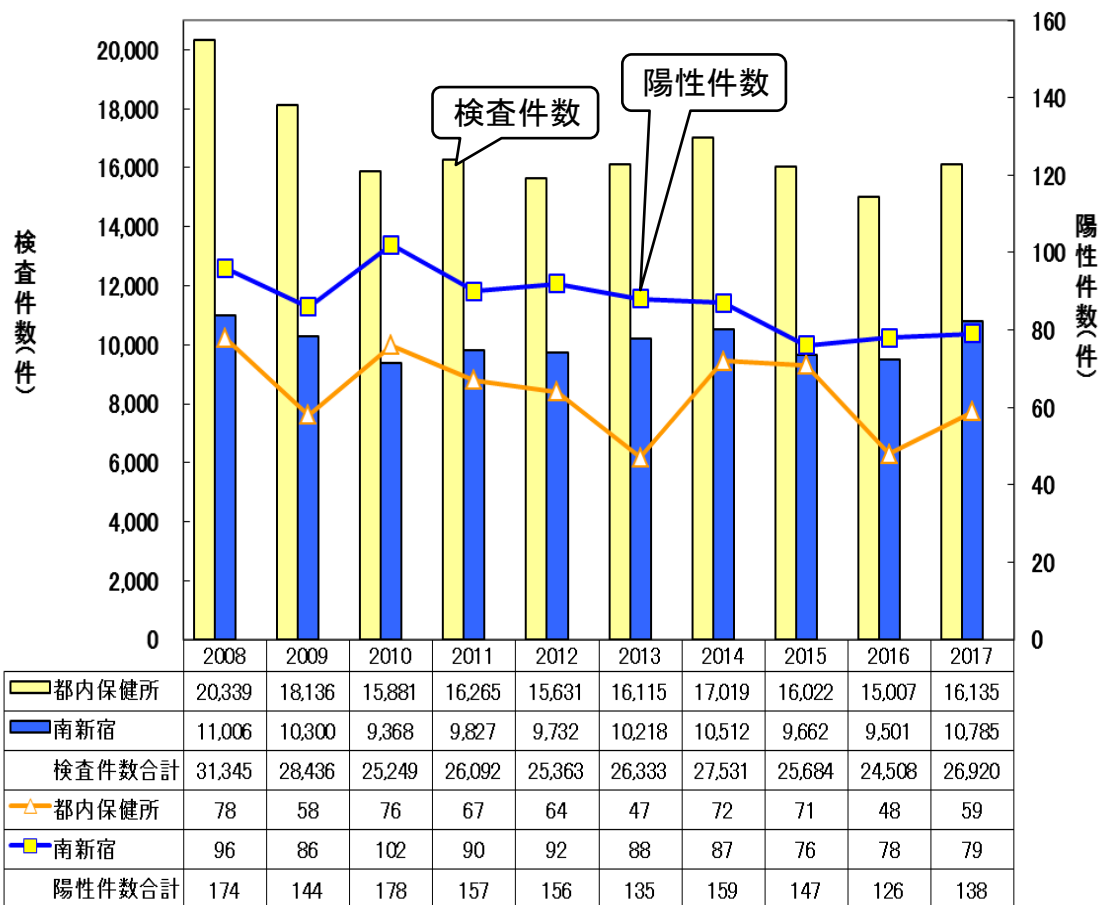
図-6
保健所等での
HIV検査件数、
陽性件数及び
陽性率の推移
(過去10年)

ひとくち
XME

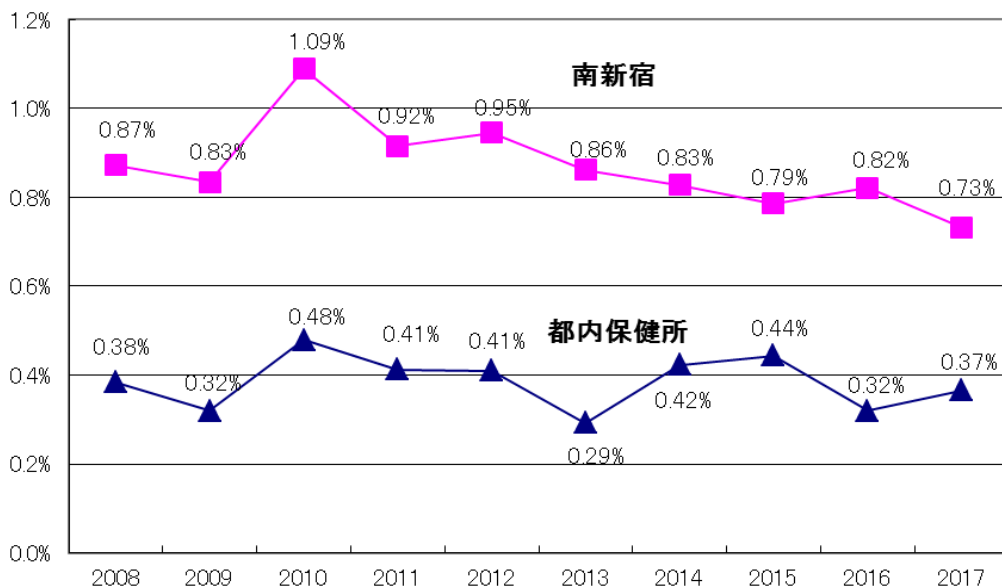
無料・匿名でHIV検査を
行っている東京都の検
査・相談室

○東京都南新宿検査・
相談室：
新宿駅南口徒歩3分
平日夜間・土日

○東京都多摩地域検査
相談室：
西国立駅徒歩約9分
土曜日



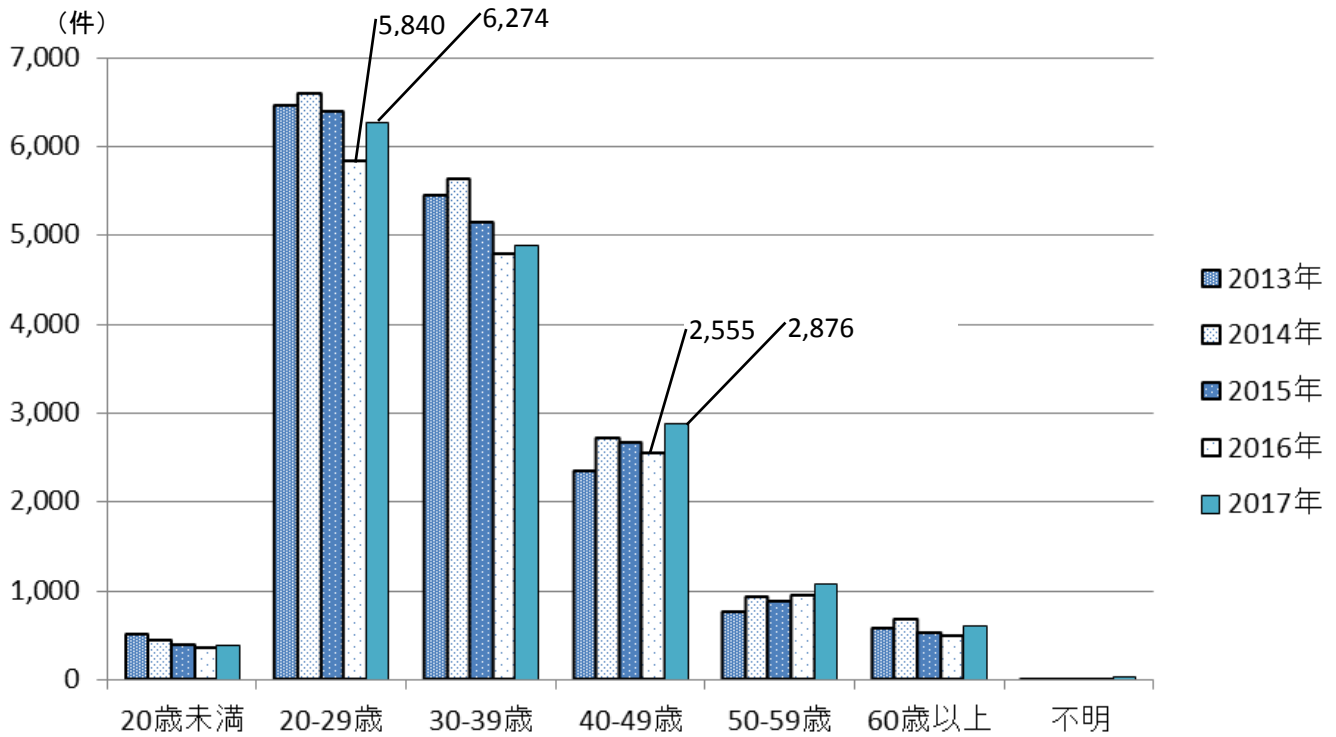
検査陽性率



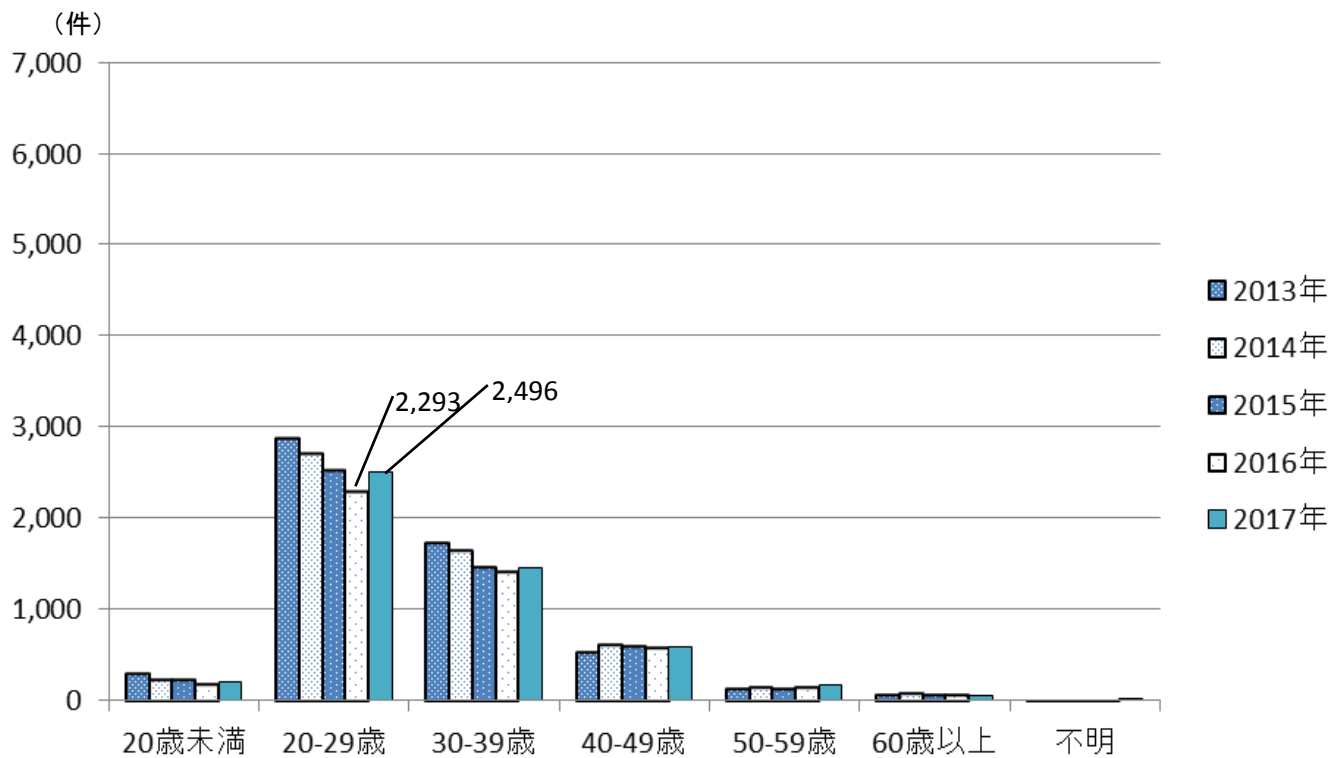
HIV検査件数合計は26,920件で、前年から2,412件 約10%増加した。
都内保健所で1,128件、南新宿検査・相談室で1,284件増加した。
陽性件数合計は138件で、前年から12件増加した。

年齢別受検者数の推移（過去5年）

(1) 男性



(2) 女性



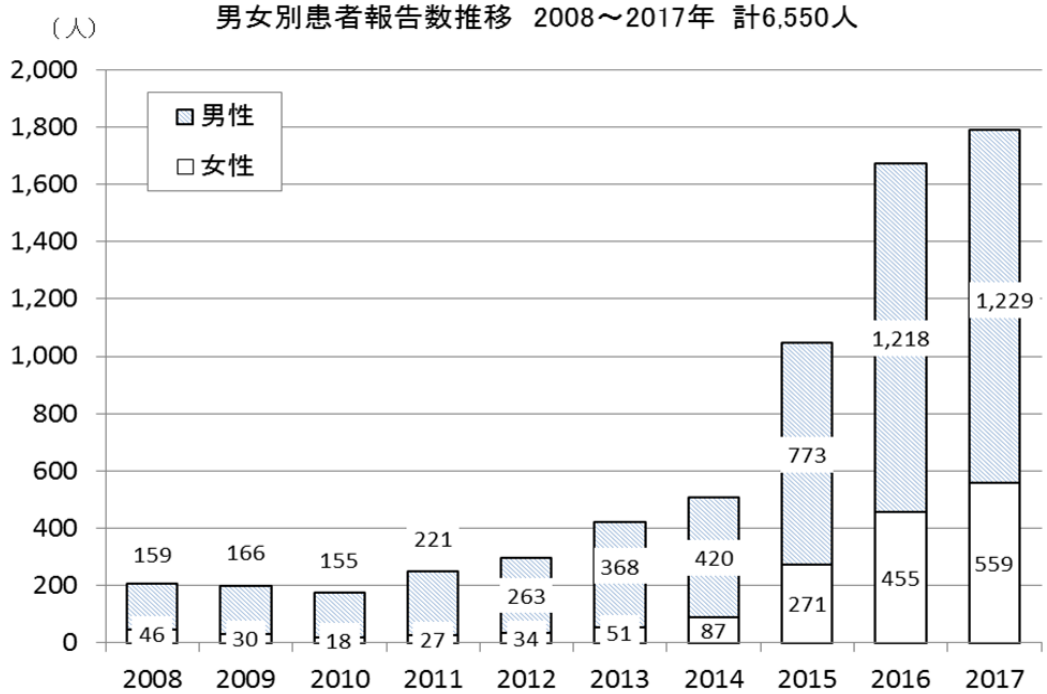
年代別の受検者数は、男女ともに、どの年代も前年と比べ増加した。
 男性は、20歳代、40歳代、女性は20歳代で顕著に増加した。

3 他の性感染症情報「東京都の梅毒の動向」

図-7
梅毒の患者
報告数推移
(過去10年)

梅毒とは？

梅毒は、梅毒トレポネーマによる慢性の細菌感染症です。性行為などによって粘膜や皮膚の傷から感染し、今や若い人を中心に身近な性感染症になっています。



—東京都感染症情報センターHP「梅毒の流行状況」—

2017年の患者報告数は、1,788件で、感染症法に基づく調査が始まってから最も多くなった。前年から男性は11件、女性は104件増加した。

図-8
推定感染経路別の
推移(過去10年)

梅毒のポイント①

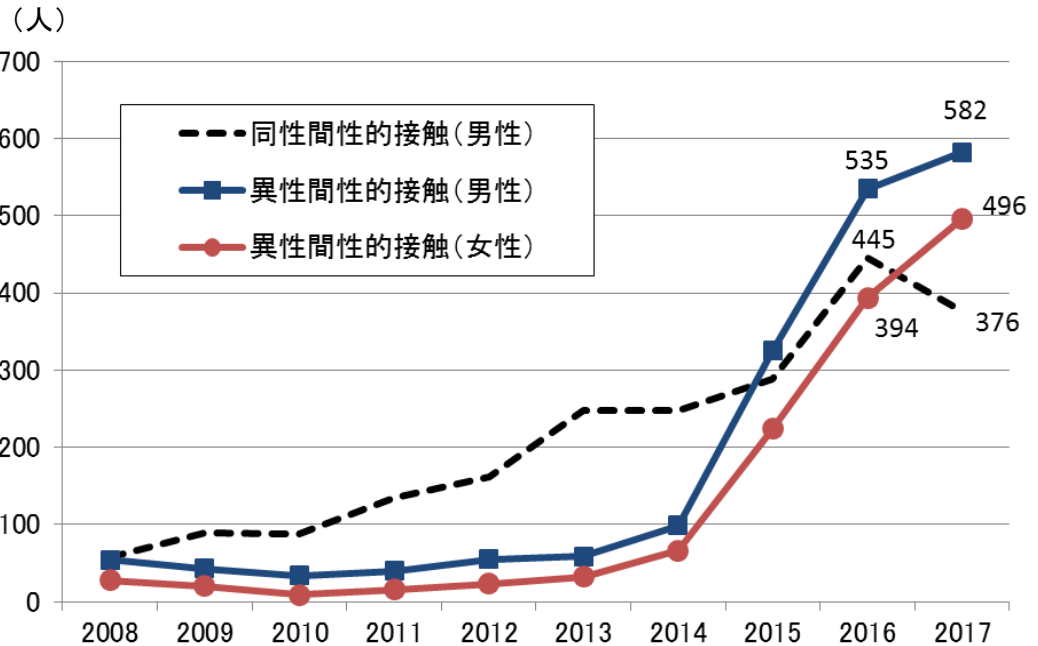
キスでも感染します。

症状が出ないこと、できものやただれができることもあります。痛くありません。

症状が自然と消え、治ったと思いつつも入ることもあります。

免疫ができないので、治療し、完治しても何度でも感染します。

症状がなくてもパートナーを感染させることもあります。



—東京都感染症情報センターHP「梅毒の流行状況」—

推定感染経路は、2014年以降、男女共に異性間性的接触が急増している。2017年は女性の異性間性的接触が、男性の同性間性的接触を上回った。

図-9
年齢別患者報告数の推移(過去5年)

梅毒のポイント②

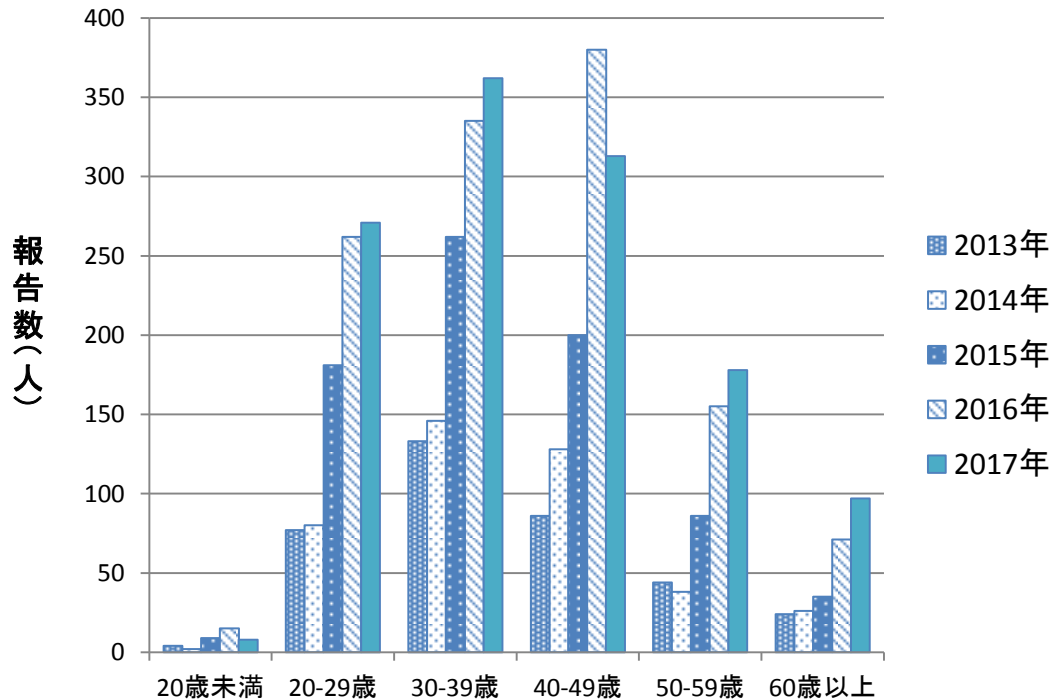
感染しているかどうかは検査を受けないとわかりません。

パートナーも梅毒検査を受けましょう。

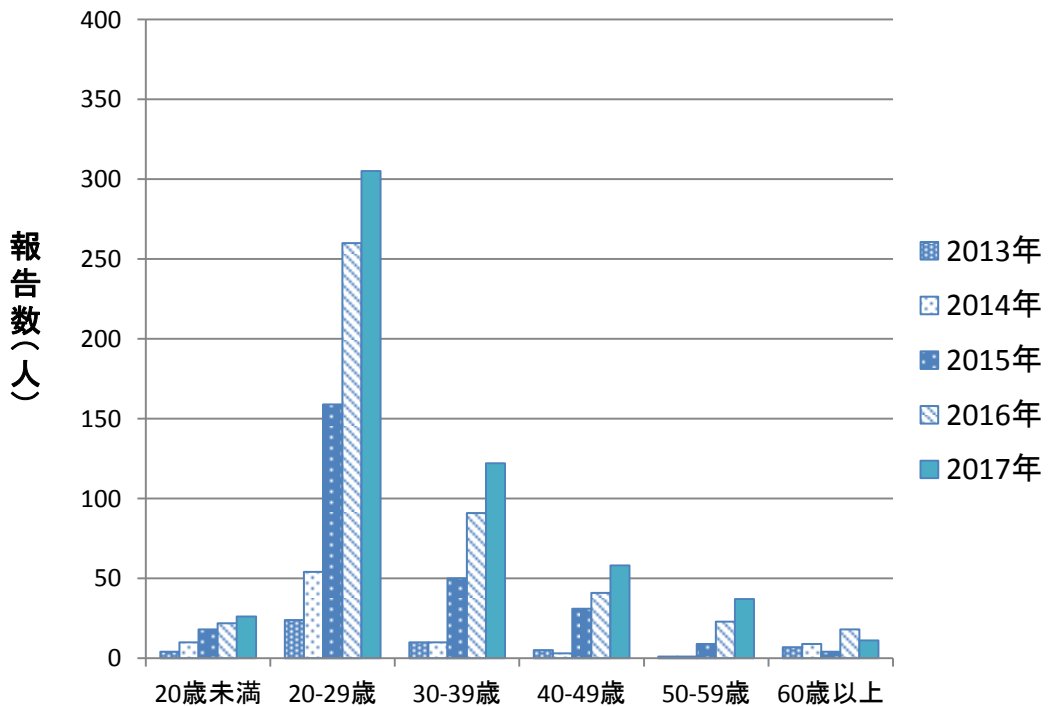
症状があるときはすぐに医療機関を受診しましょう。

予防には、コンドームの適切な使用が有効です。

(1) 男性



(2) 女性



—東京都感染症情報センターHP「梅毒の流行状況」—

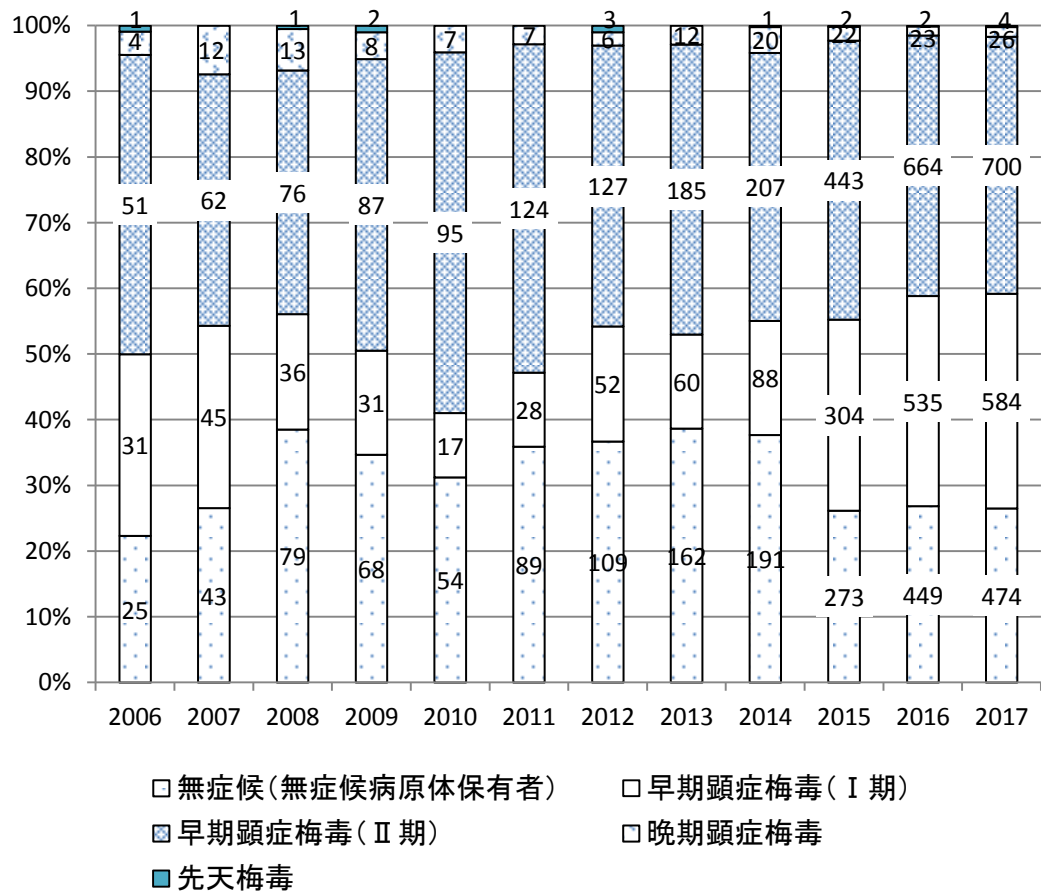
2017年は前年から男性は、20歳未満と40歳代で減少したが、他の年代は増加した。
女性も、20歳代で急増し、20歳未満と30～50歳代でも増加した。

図-10
病型別患者
報告数の推移
(過去10年)

無症候：
症状は現れていないが、梅毒血清反応が陽性。

早期顕症梅毒
(Ⅰ期)：
感染した場所に、しこり・ただれ等の症状が現れている状態。

早期顕症梅毒
(Ⅱ期)：
Ⅰ期の症状が消えた後、手足・全身などに発疹の症状が現れている状態。



2015年以降、早期顕症梅毒（Ⅰ期、Ⅱ期）の報告数及び割合が増加した。

【梅毒情報】

東京都福祉保健局HP「梅毒について」
東京都福祉保健局「性感染症(STI)ってどんな病気？」

東京都 梅毒 検索

《検査は匿名・無料》

★東京都南新宿検査・相談室 HIV通常検査(予約制)

2018年4月からHIV検査と同時に梅毒検査を毎日実施します。

住所: 渋谷区代々木二丁目7番8号 東京南新宿ビル3階 JR新宿駅南口徒歩3分
予約電話番号: 03(3377)0811

- ・電話予約受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 15:30～19:00
土・日曜日(祝日を除く) 13:00～16:30
- ・検査受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 15:30～19:30
土・日曜日(祝日を除く) 13:00～16:30

※6/1～6/30及び11/16～12/15は、希望者には性器クラミジア・淋菌同時検査を実施
(尿検査のため、検査日の前日までに尿採取セットの受け取りが必要)

平日夜間・土日検査

※インターネット予約(24時間)



★東京都多摩地域検査・相談室 HIV検査(予約制及び先着順)

2018年4月からHIV検査と同時に梅毒即日検査を実施します。

住所: 立川市羽衣町二丁目63番 東京都立川保健衛生仮庁舎内 JR南武線西国立駅徒歩9分
予約電話番号: 080-2022-3667

- ・電話予約受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 10:00～16:00
検査受付時間 土曜日(祝日を除く) 10:00
- ・先着順検査
検査受付時間 土曜日(祝日を除く) 13:00～15:00

問い合わせ先 090-2537-2906(検査日当日9:30～17:00)
※判定保留の場合は原則1週間後に検査結果を通知します。

土曜・即日検査

【発行】東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課エイズ対策担当
〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号 電話 03-5320-4487